



# Motorola Moto X Pureエディション バッテリーの交換

Motorola Moto X Pureエディションのバッテリーを交換します。

作成者: Adam O'Camb



## はじめに

このガイドを使って、Motorola Moto X Pureエディションの消耗したバッテリーを取り出して交換します。バッテリーが膨張している場合は、[適切な方法で処理してください](#)。

デバイスを再組み立てする前に、バッテリーの残量を25%以下まで放電してください。充電されたリチウムイオンバッテリーは引火の原因となったり、アクシデントで穴を開けてしまうと爆発の恐れがあります。

### ツール:

- SIMカード取り出しツール (1)
- iOpener (1)
- ピンセット (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
- スパッジャー (1)
- T3 トルクスネジ用ドライバー (1)

### 部品:

- Motorola Moto X Pure Edition Replacement Battery (1)
- Moto X Pure Battery Adhesive Strips (1)
- Motorola Moto X Pure Rear Cover Adhesive (1)

## 手順 1 — SIMトレイ



- SIMカードの取り出し用ツール、ビットもしくはまっすぐ延ばした紙クリップをSIMカードトレイの小さなホールに差し込みます。
- 押し込んで、トレイを取り出します。
  - ⓘ この作業には、かなりの力を要します。

## 手順 2



- SIMカードトレイをデバイスから取り出します。
  - ⓘ SIMカードはトレイから簡単に外れます。
- ★ SIMカードを再装着する際は、トレイに正しい方向で挿入されているか確認してください。

## 手順 3 — 開口方法



- **iOpenerを準備し、**デバイス右端に沿って約5分間にわたって背面を温めます。これにより、リアカバーを固定している接着剤が柔らかくなります。
- ① デバイスを十分に温めるために、iOpenerを複数回に渡って温めて、デバイスに当てる必要があります。iOpenerの指示に従って、過熱しないようご注意ください。

**⚠** ヘアドライヤー、ヒートガン、またはホットプレートも使用できますが、過熱にはご注意ください。LCDディスプレイと内蔵バッテリーはどちらも熱による損傷を受けやすいです。

## 手順 4



- 次の手順では、バックカバーに留められた接着剤を切開します。

① 接着剤のレイアウトは1番目の画像から確認できます。

- 3番目の画像にあるように、このエリアを切開する際は、デリケートなリボンケーブルにダメージを与えないようご注意ください。

## 手順 5



- 先端が鋭利なピンセットを閉じたまま、先端をSIMカードスロット付近のバックカバーの端についた小さなホールに差し込みます。
- ピンセットを使って、わずかにカバーを持ち上げます。そして開口ピックをカバーとフレームの隙間に差し込んで、スライドします。

## 手順 6



- 開口ピックをデバイスの端にそってスライドして、バックカバーに付けられた接着剤を切開します。
  - カバーの中央に向かって、できる限り深く開口ピックを挿入してください。カバーの中央に厚い接着剤が付けられており、これを剥がさなければなりません。
- ⓘ 次の手順に進む際は、開口ピックをそのままの位置に残しておきます。ピックを差し込んだままにしておくと、接着剤が再接着しないよう防いでくれます。

## 手順 7



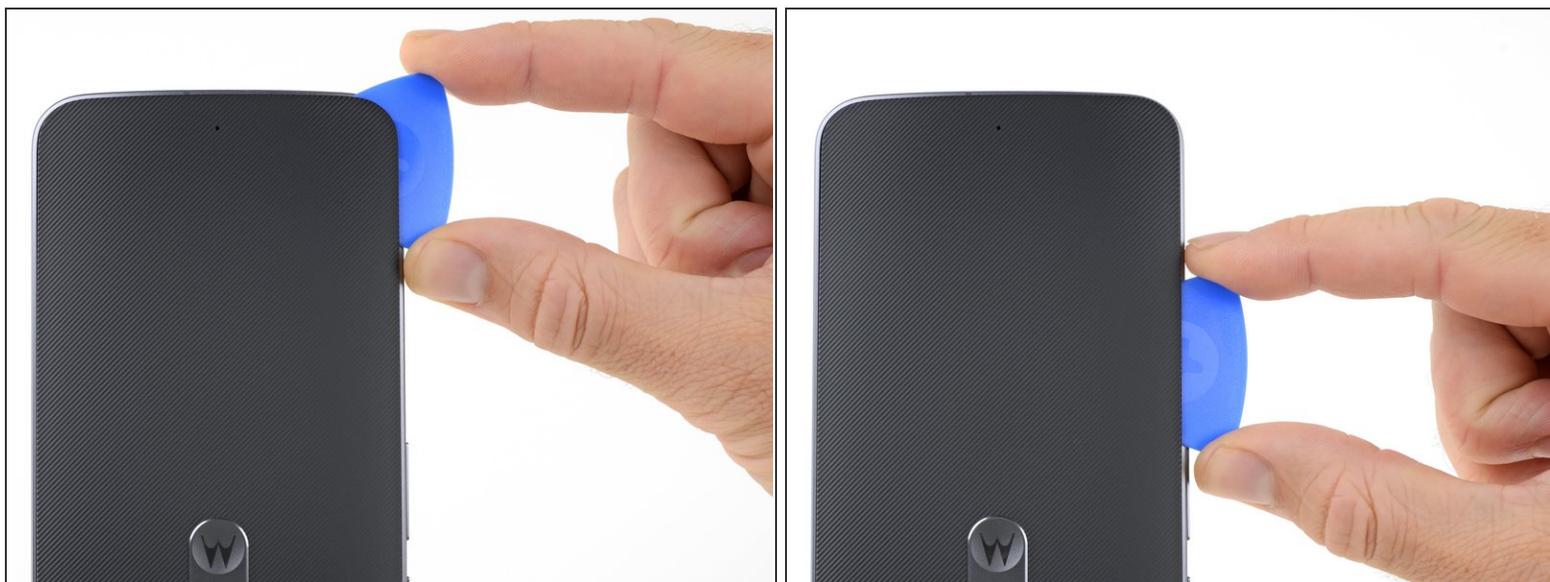
- [温めたiOpener](#)を準備し、デバイス背面の左端に沿って約5分間載せてください。リアカバーに付けられた接着剤を柔らかくすることができます。
- ① デバイスを十分に温めるため、iOpenerを複数回に渡って、温めて載せる必要がある場合があります。iOpenerの使用方法に従って、過熱しないようご注意ください。

## 手順 8



- デバイス下側端に沿って接着剤を切開します。
- ① 接着剤が冷却して硬くならないように、必要に応じてバックカバーを温めます。

## 手順 9



- デバイスの左側端にそって接着剤を切開します。
- カバーの下に開口ピックを、できる限りカバーの中央に向かって深く差し込んでください。カバーの中央に厚い接着剤があり、これを乖離しなければなりません。

**⚠** 音量ボタンの端に到達したら、スライド作業を止めてください。この地点を過ぎて切開すると、カバーの下のリボンケーブルが損傷する場合があります。

## 手順 10



- デバイス上端に沿って接着剤を切開します。開口ピックを少し外側に引き出して、リアカメラ周辺をスライスします。

## 手順 11



- デバイスからカバーを慎重にこじ開けます。

ⓘ 中央の接着剤がまだ付着している場合、これには多くの力が必要になる場合があります。カバーを持ち上げるときに、開口ピックを使用して、残っている接着剤をスライスする必要があります。

✦ バックカバーを再装着する際は、

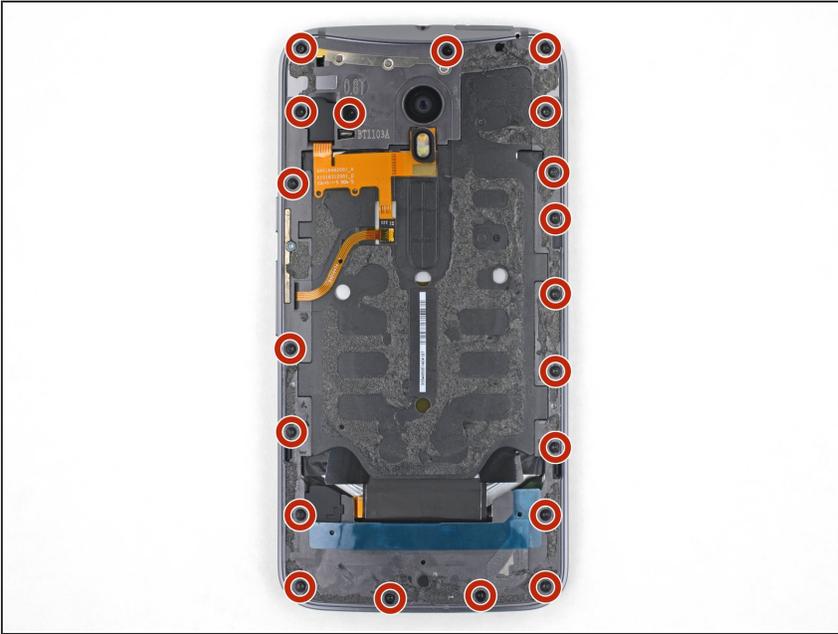
- まず、ピンセットとスパッジャーを使用して、リアカバーとデバイス筐体の両方に残っている接着剤を剥がし取ります。
- 次に、高濃度のイソプロピルアルコール (90%以上) と糸くずの出ない布で接着エリアを綺麗に拭き取ります。拭き取る際は、前後ではなく、一方向に動かしてください。新しい接着剤を付けるため表面を準備してくれます。
- 交換用の接着剤は、バックカバーの形状完全フィットするようにプレカットされたシートで提供されています。このプレカットシートがない場合は、[Tesa 61395](#)などの高接着両面テープを使用できます。バックカバーにプレカットした接着剤を取り付ける前に、[メタルインサートを外してください](#)。接着剤を装着してから、インサートを交換します。
- バックカバーを取り付けた後、デバイスに強い安定した圧力を数分間加えて、接着剤をしっかりと接着させます。

ⓘ 必要に応じて、接着剤を交換せずにバックカバーを再装着できます。バックカバーが平らに装着できない可能性のある接着剤の大きな塊を取り除きます。装着後、バックカバーを温めて、圧力をかけて固定します。





## 手順 16



- T3トルクスネジ用ドライバーを使って、2.4mmネジを20本外します。

## 手順 17



- スパジヤの先端を使って、ミッドフレームの左側を固定している小さなクリップを外しながら、デバイスの端側に押し出します。

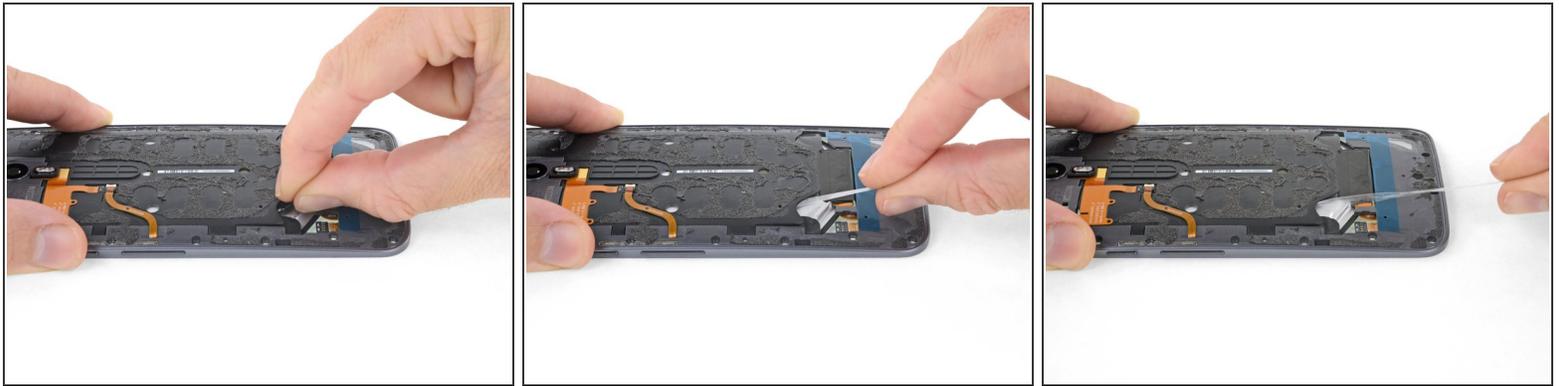


## 手順 20 — バッテリー



- スパッツァーの先端を、バッテリーに留められた音量ボタンのコネクタボードの角の下にゆっくりとスライドして差し込みます。
  - ボードをわずかに持ち上げて、バッテリーからボードを乖離します。
- !** スパッツァーの先端でバッテリーにダメージを与えてしまったり、ボードに接続されたデリケートなリボンケーブルを切断してしまうリスクがあります。作業は十分に注意しながら進めて、バッテリーに対して力を下向きに与えないでください。

## 手順 21



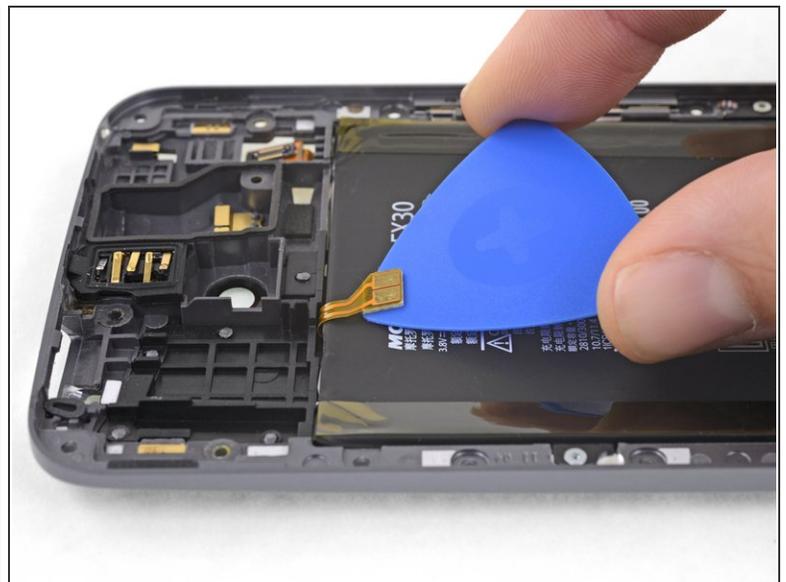
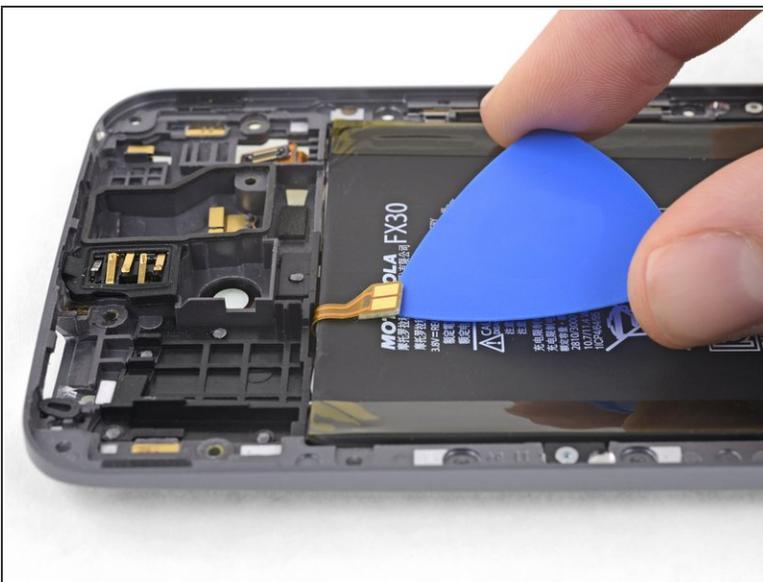
- ⚠** この手順では、接着ストリップを平らにしわが寄らないように注意してください。ねじれたりしわが寄ったストリップは、くっついて裂けやすくなります。
- ⚠** さらに、ストリップを引っ張るときにバッテリーを押さないでください。バッテリーを押すと、圧力ポイントができて、接着剤が引っかけり、破損する可能性があります。
- バッテリーの接着タブの1本を指でつかみ、バッテリーからゆっくりとデバイス下部に向かって引きます。
- バッテリーとミッドフレームの間からストリップが抜け出るまで、ストリップの張力を一定に保ち、しっかりと引っ張ります。ベストな結果を得るには、他のコンポーネントに引っ掛けずに、できる限り低い角度でストリップを引っ張ることです。
- i** ストリップは元の長さの何倍にも伸びます。必要に応じて、バッテリーの近くでストリップを持ち直してください。
- 取り外し中にバッテリーの接着タブが破損した場合、指または先の尖っていないピンセットを使用して接着剤の残りの長さを取り出して、引っ張ります。
- i** 接着ストリップのいずれかがバッテリーの下で壊れて回収できない場合は、残りのストリップを取り外してから、次の手順に進みます。

## 手順 22



- 残りの接着ストリップを同じ手順で外します。

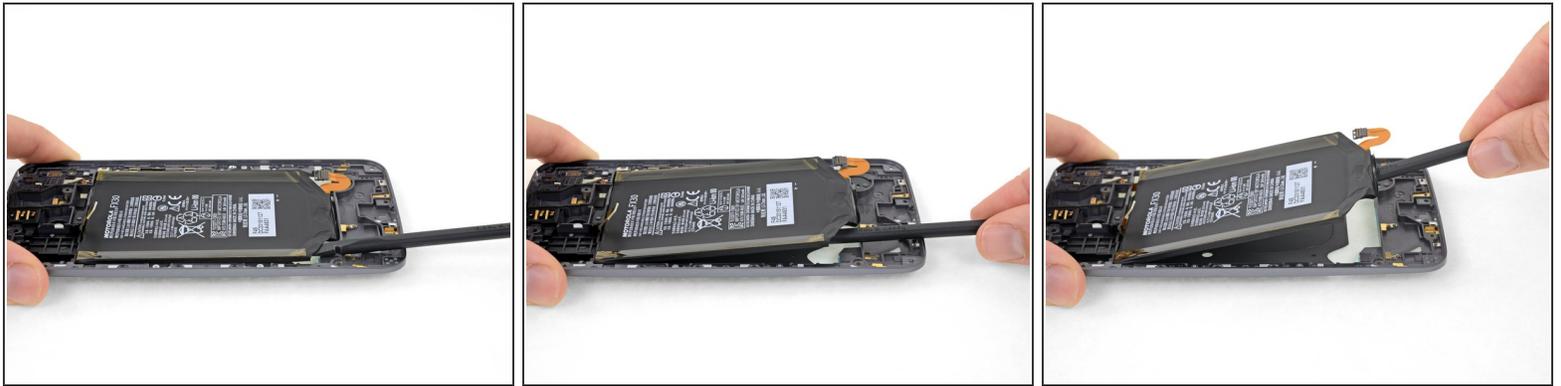
## 手順 23



- 開口ピックをNFCコネクタの下にスライドして、バッテリーからコネクタを剥がします。

- ☑ NFCコネクタの位置に注意してください。交換用バッテリーと同じ位置に再装着しなければなりません。今使用中の接着剤の粘着性がなくなっていれば、除去して[Tesa 61395](#)などの強力両面テープを使用してください。

## 手順 24



- スパジヤーの平面側先端を使って、ミッドフレームからバッテリーを持ち上げます。
  - ⚠ バッテリーにリボンケーブルの残りが装着されたままの状態になっていないか確認してください。必要に応じて、慎重にケーブルを剥がします。
- バッテリーを固定している接着剤がまだ残っている場合は、バッテリーを変形させないように注意しながら、ミッドフレームからバッテリーを慎重に取り出します。
  - ⓘ 両側に数滴のイソプロピルアルコールを注入して、下の接着剤を柔らかくすると、バッテリーが簡単に剥がれます。高濃度(90%以上)のアルコールは、デバイスのコンポーネントにダメージを与えません。
  - ⓘ または、ミッドフレームを温め、バッテリーの接着剤を柔らかくすることもできますが、バッテリーが過熱しないように十分注意してください。
- ⚠ バッテリーを変形させたり穴を開けたりしないでください。損傷した場合、発火したり爆発したりする可能性があります。
- ⚠ 損傷または変形したバッテリーは絶対に再利用しないでください。バッテリーを交換してください。
- ➡ [Tesa 61395](#)などの粘着テープ、または[プレカットした接着カード](#)のストリップを使用して、交換用バッテリーを固定します。

交換用のパーツとオリジナルのパーツを見比べてください。残りのコンポーネントを移植する必要があるか、パーツを装着する前に接着剤の裏張りを取る必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[キャリブレーション](#)を行なってください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシュートのヘルプには、[アンサーコミュニティ](#)を参照してください。